

講義名	業界研究（金融）		
科目区分	特別研究		
担当教員	福田 司文		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科/2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2019年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

“金融業界で活躍できる人材になる。”
 本講義は将来金融関連企業で働くことを希望している学生に、金融業界について知ってもらうために設定されている。金融業界としては銀行業、保険業界と証券業を主たる対象としている。この授業の特徴は、各業界の業務や動向について常に目配りされている銀行業協会、損保業界と証券業協会の担当者を招いて、基礎的なことから最新の動向まで講義していただく点、その講義内容を補足する内容を本学教員が講義することで補う点である。さらには、この業界で日々最前線で働かれている方をお招きして、業界ではどのようなことを問題にしているか講義していただき、金融業界の動向を受講者に理解してもらって、この業界で日々最前線で働かれている方をお招きして、業界ではどのようなことを問題にしているか講義していただき、金融業界の動向を受講者に理解してもらって、この業界を志望している、あるいはまだ明確ではないが関心を寄せている方は、是非受講してほしい。

到達目標

金融業界の実態についての理解を深める。金融業界を理解することで、金融業の業務や自分が将来関わりたい仕事内容についてビジョンを描く手助けになる。仕事や現在の課題を理解することで、金融業界で働くためのモチベーションが醸成できる。

提出課題

外部からの講師が担当された回は、事後レポートの提出を要求する。
 担当教員が担当する回は、授業中の作業を通じて提出物の提出を要求するか、出席確認を行う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

適宜、担当教員が授業で講評する。

評価の基準

授業への参加度によって評価する（出席回数、事後レポートの内容、教員が与えた課題への取組）。
 出欠は毎回確認するので、5回以上欠席した学生は、自動的に、評価対象から外れる。

履修にあたっての注意・助言他

外部から講師を招くため、最低限のルールを守ること。
 遅刻、私語、飲食物を机の上に並べると、授業途中での退席はしない。最低限のルールができていない学生は、受講を認めない場合もある。
 内容に疑問やもう少し説明してほしい内容があれば、質問機会があれば積極的に質問、あるいは事後レポートに記すこと。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

必要な場合は、教員が作成・配布する。

授業計画

担当者の都合により、若干変更されるかも知れませんが、概ね、次のように計画している。

第1回	イントロダクション／講義	福田 岩永氏
第2回	全国銀行協会	岩永氏
第3回	全国銀行協会	岩永氏
第4回	講義	福田
第5回	日新信用金庫	木室氏
第6回	損害保険協会	村井氏
第7回	損害保険協会	村井氏
第8回	フレアデンシャル生命保険	齊藤氏
第9回	SOMPOひまわり生命	高雄氏
第10回	三井住友銀行	現在未定
第11回	証券業協会	溝川氏
第12回	証券業協会	溝川氏
第13回	日本FP協会	金田氏
		前田氏
第14回	岡三証券	松尾氏
第15回	まとめ	福田

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前課題が与えられた場合は、必ず資料に目をとおり、事後レポートについては時間をかけて作成のこと。裁定1時間は必要。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考